

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第26号 2023. 12. 8 (金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

本田圭佑選手の卒業文集～「進路実現」に向けて頑張るみなさんへ！～

将来の夢

ぼくは大人になったら、世界一のサッカー選手になりたいと言うよりなる。
世界一になるには、世界一練習しないとダメだ。だから今ぼくはがんばっている。今はヘタだけどがんばって世界一になる。
そして①世界一になったら大金持ちになって親孝行する。
Wカップで有名になってぼくは外国から呼ばれて、ヨーロッパのセリエAに入団します。そして、レギュラーになって10番で活躍します。②一年間の給料は40億円はほしいです。③プーマとけいやくしてスパイクやジャンパーを作り世界中の人がこのぼくが作ったスパイクやジャンパーを買っていくことを夢見ている。

一方世界中のみんなが注目し世界中で一番さわぐ4年に一度のWカップに出場します。④セリエAで活躍しているぼくは、日本に帰りミーティングをし10番をもらってチームの看板です。ブラジルと決勝戦をし2対1でブラジルを破りたいです。この得点も兄と力を合わせ世界の強ごうをうまくかわしいパスをだし合って得点を入れることがぼくの夢です。

【本田圭佑選手(サッカー選手)の卒業文集より】

イチロー選手、石川遼選手、本田圭佑選手と掲載してきました「卒業文集から学ぶ」シリーズも今週でいったん終了とします。自分の生き方と重ね、少しでも、「笑顔と挑戦 一中プライド」のスローガンのもと、全力でがんばる一中生の「道標」になってくれたら嬉しいです。

先生達は、「夢やなりたい自分の姿」を思い描きながら、前向きに直向きに「笑顔」でがんばる一中生のみなさんを、全力でサポートしていきます。二学期の残りの登校日数も残り10日間になりました。最後の日まで、精一杯やりきりましょう。

(今週も私からの言葉だけではなく、それぞれが感じるポイントも大切にしてほしいと思います)

- ① イチロー選手の作文でも同じ内容のことが書かれていましたが、誰かのために、「貢献」することの大切さについてふれています。夢となるとどうしても自分中心の考えに執着しがちですが、本田圭佑選手は、小学校6年生時にはすでに、夢の実現に向けて「感謝の心」をもつことの大切さをしっかりと理解し、言葉で表現しています。
- ② 自分の報酬を、数字を含めてしっかりと把握しています。漠然とプロのサッカー選手を目指すのではなく、給料という報酬について具体的に書けるほど、自分が目指す世界のことを理解することで、夢を追うエネルギーやモチベーションを持続させています。
- ③ 若干13歳にして、自分のブランドを作り販売できることまで理解しています。すでに社会全体に目を向けています。経済の概念や、社会的な見方・考え方までも身につけています。本田圭佑選手の幼少時でいえば、マイケルジョーダンなどの有名人が同様の活動を行っていました。
- ④ 将来の居場所、未来の活躍場所をしっかりとイメージしています。
石川遼選手と同様に、しっかりと自己分析を行い、自分のあるべき姿を描き、具体的な行動目標を設定しています。「夢実現・自己実現」のためには欠かせないことです。